

3. 環境への取組

①節電活動により直近4年で約16.4%の電力削減

ひまわりでは、東日本大震災による各地域での節電の呼びかけの前から、各店舗で節電に取り組んできました。

2007年に一部店舗に使用電力状況をリアルタイムで把握するモニタリングシステムを試験導入し、こまめな電源・室温管理を継続する事で節電効果を確認しました。

さらに2019年からは一層節電に努め、下記の対策やデマンドコントロールを推進し、2019年は31,327,095kwh、2020年は28,435,130kwh、2023年は26,174,375kwhと5年間で16.4%削減しました。

(2023年4月までに閉店したウエストサイド店・柏林台店・北広島店・R36店を除いた数値です)

電力使用量推移イメージ(33店舗)



②過剰な電飾の排除

パチンコホールの内外装や看板はアピールの為に、カラフルな電飾が施されている事が少なくありません。しかし、ひまわりの店舗デザインでは初期・維持にかかるコスト面での判断だけではなく、電力消費を抑える事による環境への配慮から外装・内装に電飾物を取り付けることを抑制しています。

③LED照明の導入推進

省電力推進の為、店舗のメンテナンス・改装工事時に店舗内外装の照明をLED照明に切替えています。2024年8月の時点で33店舗中、28店舗に全面導入、札幌本社に一部導入が完了しています。

④節電ファン

エアコンの吹き出しがから出る風を利用し、羽根を回転させて空気をかき回す事で室温を一定に保ち、省エネに効果があるといわれている「節電ファン」を一部店舗と札幌本社に試験導入しています。

室温保持だけでなく、エアコンから出る風が直接あたる事が少なくなり、遊技中のお客様が快適にご遊技出来る環境を提供できます。

節電ファン



稼働中のファン(ファイターズ通り店)



「さっぽろエコメンバー」レベル2認定



⑤「さっぽろエコメンバー」認定・「節電サポーター」登録

札幌市で募集している「さっぽろエコメンバー」は、環境にやさしい取り組みを自主的に行っている事業所を「さっぽろエコメンバー」として登録、その活動を市民の皆さんにご紹介することにより、環境に配慮した取り組みの輪をさらに広げ、地球を守る、よりよい環境づくり、まちづくりを目指しています。2016年9月に最初の登録事業所認定をいただき、3年毎の更新を続け、ひまわりホールディングス及び合田観光商事とも「レベル2」として登録を更新しています。(2024年8月現在)

4. パチンコ業界としての取組

①「5社による共同会議」への参画

2019年1月30日、株式会社マルハン、株式会社ダイナム、株式会社ニラク、株式会社夢コーポレーションおよび弊社をあわせた5社共同でパチンコ依存対策を推進していく事を決定しました。

2016年12月の統合型リゾート整備推進法案の成立以降、日本国内へのカジノ誘致の関心の高まりとともに、ギャンブル等依存への懸念も指摘されています。パチンコ業界においては、パチンコ・パチスロ産業21世紀会のガイドラインに基づき、「自己申告プログラム」「家族申告プログラム」「安心パチンコ・パチスロアドバイザー」の設置など、様々な取り組みを実施しています。パチンコ依存への具体的な対策を推進するため、志を共にする5社が集まり、共同声明を発表しました。



(左から)株式会社合田観光商事 常務取締役 合田康広、株式会社ダイナム 代表取締役 藤本達司様、株式会社ニラク 代表取締役 谷口久徳様、株式会社マルハン 代表取締役 韓裕様、夢コーポレーション株式会社 代表取締役 加藤英則様(2019年)

■共同声明 概要

合田観光商事、ダイナム、ニラク、マルハン、夢コーポレーションは、パチンコ依存に対し、遊技を提供する立場として、より積極的な依存対策となる「予防」のためのアプローチに注力し、安心して楽しめるパチンコを提供いたします。そして、本日の取組の動画を一般公開し、全国のパチンコホールが更なるパチンコ依存対策に取り組むよう働きかけていきます。